

公民科（公共）学習指導案

1 単元名 民主政治と私たち

「B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」の「(2) 主として政治に関わる事項」

2 単元目標

- (1) 政治参加などに関わる現実社会の事柄を基に、意見を調整することの重要性を理解する。
- (2) 現実社会の諸課題について、必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付ける。
- (3) 政治に関わる事項について、協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。
- (4) 現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

3 単元計画（全体9時間）

(1) 指導計画

- ・単元の導入 1時間
- ・民主政治の関わり方と地方自治 2時間
- ・国会と内閣 2時間
- ・選挙、政党、メディア 3時間（本時2／3）
- ・単元のまとめ 1時間

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・政治参加などに関わる現実社会の事柄を基に、意見を調整することの重要性を理解している。 ・現実社会の諸課題について、必要な情報を適切に収集し、読み取る技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・政治に関わる事項について、協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会を主体的に解決しようとしている。

(3) 指導内容及び評価計画

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

次	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B) 具体的な評価規準 (C) 具体的支援	評価方法
			知	思	態		
第1次 (1)	【学習課題】〈単元を貫く問い〉「民意を反映した政治を実現するには」 ・国民投票は民意を十分に反映できるか？	・国民投票について多数決と熟議の視点から考察する。			●	(B) 答えを予想したり疑問を挙げるなど解決への見通しを立てている。 (C) ヒントを与える。	・発表
第2次 (2)	【学習課題】〈問い〉「民主政治への関わり方にはどのようなものがあるか」「身近な自治体が抱える問題点は何か」 ・民主政治の関わり方 ・地方自治	【ねらい】民主主義の課題と地方自治の仕組みについて理解する。	●	○		(B) 適切に情報を収集し理解している。 (C) 個別に支援する。	・ワークシート ・定期考査
第3次 (2)	【学習課題】〈問い〉「日本の国会と内閣の仕組み・役割はどのようなものか」「日本と英・米・中の政治体制の違いは」 ・日本の国会と内閣 ・日本とイギリス・アメリカ・中国の政治体制	・コロナ対応を例に、各国の政治体制の違いを考察する。	●	●	○	(B) 適切に情報を収集し理解している。【知】 (B) 幸福、公正に着目して考察している。【思】 (C) 個別に支援する。	・ワークシート ・定期考査

次	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B) 具体的な評価規準 (C) 具体的支援	評価方法	
			知	思	態			
第4次 (3)	【学習課題】<問い>「選挙制度の仕組みと政党の意義」「県議会議員の公約について考えよう」「メディアとどのように接したらよいか」							
	<ul style="list-style-type: none"> 選挙制度と政党 県議会議員の公約 メディアについて 	<ul style="list-style-type: none"> 県議会議員の公約について考察する。 新聞、テレビ、インターネットの特徴と問題点をまとめ、それぞれの情報にどのように接すればよいか考察する。 	●	●	○	○	(B) 選挙制度と政党について基本事項を理解している。 (B) 根拠をもって考察している。 (C) 個別に支援する。 5 (1) 参照	<ul style="list-style-type: none"> 観察 定期考査 ワークシート
まとめ (1)	【学習課題】<単元を貫く問い>「民意を反映した政治を実現するには」							
	<ul style="list-style-type: none"> 民意を反映した政治 	<ul style="list-style-type: none"> 本単元で学んだことを生かし、自らの考えを論述する。 				○	【態】 5 (2) 参照	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りの記述

4 本時の指導と評価の計画

(1) 本時の目標

県議会議員の公約について、「幸福」「公正」の観点から構想する。

(2) 本時の展開

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> 本時の流れを確認 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の流れを知る。 グループを編成する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループは、居住地によって組ませる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 公約を考え、グループで一つ選ぶ。(ワーク1, 2) 	<ul style="list-style-type: none"> 過去の選挙公報を参考に魅力的な公約を考え、グループ内で一つ選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 公約については具体的なものになるよう指導する。その際、インターネットで調べさせる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 選んだ公約について考察(ワーク3, 4) 	<ul style="list-style-type: none"> 選んだ公約について「幸福」「公正」の観点から思考する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人で取り組ませる。 ○ワーク3, 4【思】

(3) 本時の評価規準 5 (1) 参照

5 評価問題(評価材料)及び評価規準

(1) ワーク3, 4の評価規準【思考・判断・表現】

「功利主義」「公正としての正義」の考え方に基づいて考察している。

ワーク3, 4の内容

3 公約について「功利主義」の考え方を使い、賛否を判断しよう。
4 公約について「公正としての正義」の考え方を使い、賛否を判断しよう。

ワーク3, 4の判断基準

「おおむね満足できる」状況(B)と判断される例
<ul style="list-style-type: none"> ワーク3, ワーク4のいずれか、適切に考察している。
「十分満足できる」状況(A)と判断される例
<ul style="list-style-type: none"> ワーク3, ワーク4のいずれも適切に考察している。
「努力を要する」状況(C)と判断される生徒の例と教師の指導
<ul style="list-style-type: none"> ワーク3, ワーク4のいずれも適切に考察していない。 →次の授業で、ヒントを示し再度、思考を促す。

(2) 振り返りの評価規準【主体的に学習に取り組む態度】

本単元で学んだことを踏まえ、自らの考えを論述している。

振り返りの内容

民意を反映した政治を実現するには？（単元で学んだことを生かし記述すること）
振り返りの判断基準
「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例
・単元で学んだことを踏まえ、自らの考えを具体的に記述している。
「十分満足できる」状況（A）と判断される例
・単元で学んだことを踏まえ、自らの考えを自分事として具体的に記述している。
「努力を要する」状況（C）と判断される生徒の例と教師の指導
・単元で学んだことを生かし、具体的に記述していない。 →単元で学んだことを振り返るよう指導する。

6 成果と課題

(1) 成果

公約を考えさせる場面（ワーク1）では、選挙公報を参考にさせたことで比較的現実的なものとなった。また、公約を選び、より具体的にする場面（ワーク2）では、協働的な学習をさせることができた。ワーク3、4では、考え方の枠組みを活用し考察させる場面にする事ができた。さらに、生徒の身近な自治体を題材にしたことで意欲的に取り組ませることができた。

(2) 課題

本実践では、ワーク3、4の考察をするためには、ワーク1、2を具体的にする必要がある。ワーク1、2を具体的にする過程では、生徒だけでは限界があり課題を感じた。このことには、助言を繰り返すことで対応した。また、ワーク3、4の考察について、「功利主義」や「公正としての正義」の考え方を活用できない生徒も一定数いた。見方、考え方を用いて考察する経験を多く積ませる必要性を感じた。